

具体的に

協賛金や募金は何に使われているの？

Y.P.O.はアマチュアの楽団であり、営利目的団体ではありません。

自分たちで納入する団費を主な財源として運営しています。

イベント演奏で謝金をいただくこともあります、

練習会場費(年間 20 万円ほど)や楽器修理などの維持管理費、楽譜購入費、etc.・・・

楽器に関しては、出来るものは極力自分たちで修理していますが、それでも出ていく経費は多く、

実は近年毎年赤字が続いており、創立当初から細々とプールされてきた団の預金を、

今は少しずつ切り崩している状況です。

コンサートに際しては、団員から参加費を徴収しています。

しかし、それだけでは到底足りません。

会場費および設備費だけで、1 日で 30 万円近くの費用がかかります。

その他の主な支出費用としては、音響・照明ほか裏方スタッフさんたちの人件費、チラシやポスター・

パンフレット等の制作印刷費、大型トラックでの楽器往復運搬費、著作権料などなど・・・

例年約 120 万円の経費がかかっており、皆さまからの協賛金や募金が無ければ、コンサートを開催することが出来ない状況です。

本当に本当に有難く、心より感謝いたします。

そんな状況ではありますが、無料コンサートに関しては今後も可能な限り継続してまいります。

以前は入場料をいただいていた時期もありましたが、有料に戻す予定は今のところありません。

それは、冒頭にも申し上げたとおり、Y.P.O.が営利目的の団体ではないこと、

そして誰もがフラットに楽しめるコンサートを目指しているからであり、

協賛ご案内文書にある“音楽を贈る喜びを”というコンセプトにも繋がる部分です。

ぜひ皆さま方のお力添えを賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

よしだポップスオーケストラ 団員一同

Q:宝山ホールの会場料が高いのなら、他のホールを使えば良いのでは？

確かに、もう少し安価なホールもありますが、おかげ様で Y.P.O.のコンサートは例年入場者数が多く、キャパシティ、そして安全面からも、どうしても選択肢がある程度大きなホールに限られてしまいます。その中でも交通の利便性、あと音響の良さといった点でも宝山ホールが今のところベストだと考えます。

Q:では無料にせず入場料を徴収すれば、資金不足は解決するのでは？

実は殆どのホールは入場料が有料になると、無料の場合と比べて格段に会場費が高くなります。宝山ホールの場合、2 倍近くまで跳ね上がってしまうのです。他にも入場料に連動して高くなる経費があるため、一概に有料が良いとは限りません。著作権料に至っては 3 倍以上に膨れ上がります。

Q:いっそのこと野外コンサートはいかがでしょう？

楽器はとってもデリケートです。特にクラリネット等の木管楽器やシロホン(木琴)などの打楽器類は、湿気や気温変化のダメージを受けやすく、特に灰降る街、ここ鹿児島での長時間の野外演奏は、楽器にとって過酷な環境となってしまうのです。また、野外は場所によっては近隣から苦情が寄せられることもあります。聴いているお客様にとっても、私たち演奏者にとっても、天候を気にせず、空調も整っていて音楽と気持ちよく向き合える大きなホールが、今のところベストだと思っています。

Q:会場費以外に、Y.P.O.として工夫出来る事は無いの？

経費も削れるところは削っていますが、あとは収入を増やすことも必要だと考えています。コロナ禍に比べると少しずつ演奏イベントも戻ってきていますが、まだまだイベント収入は少ない状況です。

また、団員を増やすことも喫緊の課題です。団員がもっともっと増えれば、連動して団費収入が増えるからです。

上記の事から、周知活動ならびに団員募集活動も継続して行ってまいります。